



平成 26 年 4 月 21 日

健康増進課 感染症・新型インフルエンザ担当

担当者 吉村、大木

内線 1832、1836 直通 0952-25-7075

E-mail: [kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp](mailto:kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp)

指定障害者支援施設「佐賀コロニー」

担当者 吉富、木室

直通 0952-62-1212

E-mail: [sagakoroni@pref.saga.lg.jp](mailto:sagakoroni@pref.saga.lg.jp)

障害福祉課 施設担当

担当者 江頭、山川

内線 1573、1574 直通 0952-25-7064

E-mail: [shougai Fukushi@pref.saga.lg.jp](mailto:shougai Fukushi@pref.saga.lg.jp)

## 障害者支援施設でサポウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました

指定障害者支援施設「佐賀コロニー」でサポウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありましたのでお知らせします。

なお、有症者は、現在回復傾向にあり、重症者はいません。

サポウイルスは、ノロウイルスと同様に感染性胃腸炎を起こします。ノロウイルス対策と同様に、食品の十分な加熱と感染者の吐物等の処理には十分注意しましょう。

### 記

#### 1 施設名等

- |           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| (1) 施設名   | 佐賀県立佐賀コロニー                     |
| (2) 所在地   | 佐賀市大和町川上 3 1 1 3               |
| (3) 種別    | 指定障害者支援施設                      |
| (4) 施設利用者 | 1 1 7 名 (平成 2 6 年 4 月 2 1 日現在) |

#### 2 経緯

平成26年4月17日に佐賀中部保健福祉事務所に、「佐賀コロニーから「施設利用者及び職員等に嘔吐・下痢等の患者が発生している。」との連絡がありました。

直ちに、関係者の検便検査(ウイルス及び食中毒菌)を行い、本日、その検査が完了しました。

- ・24名のうち8名(2名は無症状)からサポウイルスが検出
- ・食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌)は不検出

なお、保健福祉事務所の指導の下、当該施設では、施設内の消毒(次亜塩素酸ナ

トリウム使用)及び有症者の行動制限や行事の中止等による感染拡大防止の措置を行っています。

### 3 「佐賀コロニー」の有症者の状況等

有症状者数 (新規発症者の数)

日付	内 訳	計
4月14日	利用者 0名 職員等 1名	1名
4月16日	利用者 7名 職員等 2名	9名
4月17日	利用者 24名 職員等 0名	24名
4月18日	利用者 8名 職員等 1名	9名
4月19日	利用者 10名 職員等 0名	10名
4月20日	利用者 4名 職員等 0名	4名
4月21日	利用者 1名 職員等 0名	1名
合計	利用者 54名 (男27名、女27名 29才～ 77才) 職員等 4名 (男 2名、女 2名 39才～ 60才)	58名

※ 4月21日 現在、症状がある者は、10名(利用者 10名)です。

※ 有症者は、現在回復傾向にあり、重症者はいません。

※ 発症場所については、県立施設のため公表しています。

### 4 「佐賀コロニー」における感染拡大防止の実施状況

- (1) 施設の消毒(次亜塩素酸ナトリウム使用)及び手洗いの徹底の強化
- (2) 有症者の行動制限や行事の中止等による感染拡大防止
- (3) 感染対策委員会の開催による情報共有と対応の徹底
- (4) 給食施設の使用自粛(4月18日夕食から)及び給食施設の消毒の徹底
- (5) 利用者及び職員等の健康観察の実施

### 5 問い合わせ先

○感染症に関すること :健康増進課 感染症・新型インフルエンザ担当  
担当者 吉村、大木  
電話 0952-25-7075

○施設に関すること : 指定障害者支援施設「佐賀コロニー」 担当者 吉富、木室  
電話 0952-62-1212  
障害福祉課 施設担当 担当者 江頭、山川  
電話 0952-25-7064

<参考>

#### 感染防止のポイント

(県民の皆様方へ)

- ① 手洗いは予防の基本です。(調理前、トイレの後など十分な手洗いをしましょう。)

- ② 下痢・おう吐のある患者に接する注意点
- ・こまめに手を洗いましょう。(特に用便後)
  - ・おう吐物、糞便等を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用の上処理しましょう。
  - ・汚物の付着した床などは、速やかに次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませてから除去しましょう。放置したり消毒が不十分なときには、乾燥した汚物が粉塵となって、感染源になることもあります。
  - ・下痢症状のある方のお風呂は最後にし、下着の洗濯も別にしましょう。
- ③ 二枚貝については、なるべく生食を避け、加熱して食べましょう。
- ④ 食品を加熱する際は、食品の中心部まで十分に加熱調理しましょう。

**(食品取扱従事者の皆様方へ)**

- ① 手洗いを励行し、使い捨て手袋を着用しましょう。
- ② 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を取り扱う作業を避けましょう。
- ③ 貝類などを処理した調理器具からの食品汚染を防止しましょう。

**(保育園・学校・児童・高齢者施設等の集団給食施設関係の皆様方へ)**

- ① 日常の健康観察の情報を集約し、発生状況を把握しましょう。
- ② 感染性胃腸炎の集団発生が疑われる場合は、施設管理医に報告するとともに、速やかに最寄りの保健福祉事務所（保健所）に連絡・相談しましょう。